

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	52	「居心地のよい共用空間づくり」 建物の一部で下水の臭いがある 設置された温度計の数値で館内の暖房等はコントロールしている	居心地よく過ごせる工夫をする。	下水の臭いについては直ちに業者による点検を行ったところ、天候によるもので、問題はなく下水の臭いはありません。定期的に点検や換気、清掃で清潔感に配慮し、日頃の気づきを大切にする。居心地良い室温、温度は利用者本位で調節できるよう設定温度の数値にとらわれることなく対応する。	1ヶ月
2	6	「身体拘束しないケアの実践」 鍵をかけない時間帯や方法についての具体的な検討	安全面を優先に取り組んでいく。	ユニット毎に施錠しない時間帯や方法を検討する。施錠について、利用者や家族、ボランティア等の来訪者がどのような印象を持っているか意見を聞き参考にする。	6ヶ月
3	40	食事を楽しむ事の出来る支援	献立に入居者の好みが反映される。	手作りおやつや外食会などにご家族に参加していただき、様々な意見が集まるよう家族が味わう機会を設ける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。